

## 記事: 消息

— 陳百合子姉、小坂るみ姉、武井里花姉など、主の癒しを必要とされている方々のために、お祈りください。また、天に召された南部 Ethel 姉のご家族の為に、特に南部勝牧師の為に祈りください。

— 11月12日のメッセージは“偽善と善 1”と題して、マタイによる福音書7章15-20節からでした。主イエスはにせ預言者を羊の皮をかぶった強欲な狼、と称し、警戒しなさいと言われましたが、強欲な狼、と言われてるように、偽善と搾取は結びついています。主イエスは木々は実によってその種類を見分けることができるといわれているように、私たちがよい実を結ぶことができますように。

## お知らせ

— 11月19日は礼拝後、ECRAの感謝祭の超教派（キリスト教、ユダヤ教、イスラム教）の合同礼拝が主会堂にて午後3時から行われます。礼拝後は、寄付された缶詰を Care for Real が受け取ります。缶詰の寄付をされたい方は、礼拝前に、主会堂前の Welcome Center までお持ちください。

— 12月3日は、由紀牧師の休暇のため、安納義人先生がメッセージをしてくださいます。安納先生に感謝いたします。

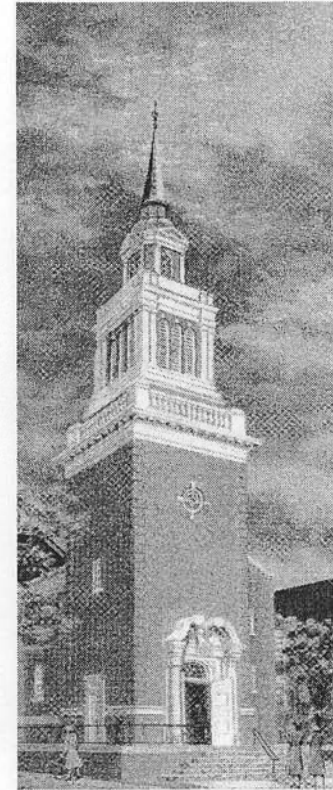
— クリスマスシーズンに向けて、スペイン語部恒例の Posada が、下記のスケジュールで行われます。詳細は Steeple Stories の今月号をご覧になるか、由紀牧師までお尋ねください。

- 12月8日 午後7時 Rony Reyes 牧師 (牧師館の隣り)
- 12月9日 午後4時30分 Maria Nodarse 姉 (Lincolnwood, IL)
- 12月16日 午後4時30分 Viola Mayol 姉 (Evanston, IL)
- 12月17日 午後4時30分 Manuel Sinchi 兄 (Evanston, IL)

今週の聖句：まず、神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、これらのものは、すべて添えて与えられるであろう。(マタイによる福音書6章33節)

---

発行：2017年11月15日ノースショアバプテスト教会日本語部  
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)  
電話：773-728-4200 Ext. 26



# 週報

第3651号

2017年 11月19日

ノースショア バプテスト教会 日本語部  
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640  
Phone: 773-728-4200 Web: www.northshorebaptist.org

日曜日礼拝順序

憩いの場

2017年11月19日 午前11時 南部チャペル

“いのちにつながる恵み”

前奏		武井里花姉
頌栄	539	
開会の祈り		Scroggins 由紀牧師
主の祈り		一同
交読文	24	詩篇100篇
賛美歌	9	“ちからの主を ほめたたえまつれ”
祈りの時		Scroggins 由紀牧師
聖書拝読		坂田淑姉
		マタイによる福音書18章1-7節
賛美歌	191	“いともとうとき 主はくだりて”
説教	“偽善と善 2”	Scroggins 由紀牧師
賛美歌	492	“神のめぐみは いとたかし”
献金 報告		下竹寛子姉
頌栄	541	
祝祷		Scroggins 由紀牧師
後奏		武井里花姉
(礼拝終了:奉仕開始)		

交わりの時 礼拝後 南部チャペル

“主に連なっている異邦人は言うてはならない、’主は必ずわたしをその民から分かれたる”と。宦官も言うてはならない、’見よ、わたしは枯れ木だ、’と。” (イザヤ書56章3節)

先日、定住者会で行われた Holiday Delight のボランティアにいったのですが、例年にない人出で、開始時間の朝10時から大変な賑わいでした。これも近年の政治的な影響でしょうか。日系人であるという属性を、より多くの日系人たちが、近年の移民法の改正などによって気づかされたのかもしれませんが。しかし、同時に民族的なアイデンティティは、流動的なものでもあり、信徒にとって、どこにプライオリティをおくかは非常に大きな問題です。

主はイザヤという預言者を通してこういわれました。主は必ずわたしをその民から分かれたる、と言つてはならない、というイザヤ書56章の箇所、信仰を持つにあたって、x x人でなくなる、自分のアイデンティティがなくなるという危機感を持つてはならない、というみことばです。イザヤ書55章において、主は、イスラエルの民に、ご自身の豊かな恵みを思い起こさせ、主に立ち返るように、という招きをされています。また、天が地よりも高いように、わが道は、あなたがたの道よりも高く、わが思いは、あなたがたの思いよりも高い(55章9章)といわれているように、御前において、人間の存在の小ささを教えられています。私たちが信仰を持つ、ということは、自分自身が変えられていくプロセスを歩み始めるのであって、それに比べると、私たちがどこかの国や文化に属するというのは、本質的な事柄ではないのです。主は、宦官にも、自分は枯れ木だといつてはならない、といわれているように、主に属している者は、常に神が創造されたいのち、というすばらしい資源につながっているといえるでしょう。どこの国に属していても、どこに住んでいても、神のご慈愛と恵みは、信じる者たちに、限りなく注がれていることに心から感謝します。(Scroggins 由紀)